

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 1 区分
【発行日】平成21年3月5日(2009.3.5)

【公開番号】特開2006-201173(P2006-201173A)
【公開日】平成18年8月3日(2006.8.3)
【年通号数】公開・登録公報2006-030
【出願番号】特願2006-9901(P2006-9901)
【国際特許分類】

G 0 1 R 27/28 (2006.01)

【F I】

G 0 1 R 27/28 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年1月15日(2009.1.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被試験デバイス(DUT)を測定する方法であって、

- (1) パルスドRF入力信号を前記DUTに印加するステップと、
- (2) 前記DUTの出力からのRFパルス応答スペクトル内の中央トーンを選択的に測定するレシーバに、前記DUTの出力を接続するステップと、
- (3) ウィンドウ期間内において前記DUTからのデータ出力をサンプリングするように前記レシーバをトリガするステップと、
- (4) 前記ウィンドウ期間の後にデータの取得を停止するステップと、
- (5) フィルタ条件が満たされたかどうかを決定するステップと、
- (6) 前記フィルタ条件が満たされていない場合に、前記ウィンドウ期間内において前記DUTからのデータ出力をサンプリングするように前記レシーバをトリガするステップおよび前記ウィンドウ期間の後にデータの取得を停止するステップを繰り返すステップと、を含む方法。

【請求項 2】

前記データの取得を停止するステップが、第1のウィンドウ期間の立ち下がりエッジから第2のウィンドウ期間の立ち上がりエッジまで実行される、請求項1に記載の方法。

【請求項 3】

前記ウィンドウ期間の後にデータの取得を停止するステップが、ゼロ化されたアナログデータを測定するステップ、ゼロ化されたデジタルデータを測定するステップ、デジタルデータにゼロ係数を乗算するステップ、及びデータ収集を停止するステップ、のうちの少なくとも1つを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項 4】

前記ウィンドウ期間の後にデータの取得を停止するステップが、前記パルスドRF入力信号の雑音部分内において実行される、請求項1に記載の方法。

【請求項 5】

ウィンドウ期間内において前記DUTからのデータ出力をサンプリングするように前記レシーバをトリガするステップが、前記パルスドRF入力信号の雑音部分内において実行される、請求項1に記載の方法。

【請求項 6】

前記ウィンドウ期間の後にデータ取得を停止するステップが、前記ウィンドウ期間の後にヌル擬似データを処理するように、デジタル信号プロセッサをプログラムするステップを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

ウィンドウ期間内において前記 D U T からのデータ出力をサンプリングするように前記レシーバをトリガするステップが、前記レシーバに外部トリガ信号を提供するステップを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

ウィンドウ期間内において前記 D U T からのデータ出力をサンプリングするように前記レシーバをトリガするステップが、前記レシーバにおいて内部トリガ信号を発生させるステップを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

前記ウィンドウ期間が、所定の R F パルス持続時間に応じて設定される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 10】

前記ウィンドウ期間が、測定された R F パルス持続期間に応じて設定される、請求項 1 に記載の方法。